



コミュニティ・スクール太宰府市立太宰府東中学校

東の風

令和8年4月10日（金）第1号 文責：校長 高良 悦子



新年度のスタート

太宰府東中3年目になりました校長の高良悦子です。教育目標を「人間性豊かでたくましく、志をもって主体的に学び、よりよく生きる生徒の育成」とし、教職員一同、気持ちを新たにがんばりたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。

【転出・転入された先生方の紹介】

離任された先生方

新しく赴任された先生方



106名の新生の皆さん、入学おめでとうございます

4月7日に前期始業式、9日に第40回入学式を行いました。新入生の皆さん入学おめでとうございます。全校で341名となり、令和8年度がスタートしました。入学式の新入生呼名では一人ひとりの力強い返事と、引き締まった表情を見て、新しい中学校生活への決意を感じ、大変うれしく頼もしく思っています。新入生の皆さんのこれからの3年間で、希望に満ちた素晴らしいものになることを祈念いたします。



本校の楠の木と桜

合言葉は「ありありなんや」

本校では「校訓（健康・叡智・敬愛）」を土台に、生徒も教職員も全員が幸せになることを目指し、学校教育目標のサブテーマを～Well-beingの実現を目指す学校に！～としています。「幸福」には様々な表現があり、例えばHappinessは、瞬間的な「幸福」とされています。それに対しWell-beingは、持続的な「幸福」であり、身体的、精神的、社会的に良好で満足した生活が送れている状態などといわれています。

慶應義塾大学で「幸福学」を研究されている前野隆司教授は、このWell-beingを高める「幸せの4つの因子」を設定し、「これら4つを満たしている人は幸福度が高く、どれかを満たさないと幸福度が下がり、全てが低い人は最も幸福度が低いことがわかっている。」と述べています。その「幸せの4つの因子」を簡略化して紹介します。

【幸せの4つの因子】

- 「ありがとう」因子（感謝を伝え、周りの人とながり、信頼し合うこと。）
- 「ありのままに」因子（誰かと比べるのではなく、自分自身の良さを大切にすること。）
- 「なんとかなる」因子（失敗を恐れず、ポジティブに前を向くこと。）
- 「やってみよう」因子（夢中になれることを見つけ、自分から進んで成長すること。）

今年一年、この4つを意識していくために、覚えやすい合言葉を作りました。あり（ありがとう）あり（ありのままに）なん（なんとかなる）や（やってみよう）、「ありありなんや」です。学年を超えた絆を深め、お互いの心と心を紡いで、みんなで幸せになっていくことを願っています。

また、本年度も「太宰府東中ブロック」として小・中ともにコミュニティ・スクールの取組をさらに充実させることを通して、学校・家庭・地域が一体となった「共育」を推進していこうと考えています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。